

敬愛大学教育後援会報

# 敬 愛

第39号

発行 敬愛大学教育後援会

発行責任者 小林 露 整

編集責任者 藤 井 輝 男

〒263-8588 千葉市稲毛区穴川1-5-21

TEL. 043(284)2381



敬愛フェスティバル2009



教育後援会会長

小林 露 整

敬愛大学教育後援会報第39号の発刊にあたりましてご挨拶を申し上げます。日頃から教育後援会の会員の皆様におかれましては、後援会活動に対してご理解ご協力を頂きまして心より感謝申し上げます。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。4年間の敬愛大学でのキャンパスライフはいかがでしたでしょうか。きつと有意義にすごされたことと思います。新校舎での授業は快適であったことでしょう。また保護者の皆様におかれましても、お子様の卒業を心からお祝い申し上げます。教育後援会に対して多大なるご支援とご協力をいただきましたこと、心から感謝申し上げます。

卒業生も皆様にはこれから新しいスタートラインに立つわけですが、今後の人生は未知のことであり、新鮮でもあり、新しい発見と共に苦難への道が待っています。しかし何も悲観することはありません。何事がおきても楽しく前向きに、ポジティブに進めばどんな困難がおきても突破できるはずですよ。人間関係や仕事の面で大きく悩むこともあるでしょう。しかし人として思いやりをもち、心を開いて接すれば必ず難問は解決させることができます。むしろ困難を楽しむくらいの余裕があつてほしいものです。これからの世界は皆さんが築き上げていくのです。結果を怖れずに果敢に様々なことにチャレンジしていただきたいと思えます。

末筆に卒業生の皆さんのご多幸をお祈りし、敬愛大学のご発展と諸先生方のご活躍をお祈り申し上げます。

ご挨拶



教育後援会副会長  
(経済学部)  
成合 信吾

敬愛大学教育後援会報第39号の発刊にあたりましてご挨拶を申し上げます。

日頃から教育後援会の会員の皆様におかれましては後援会活動に対して、ご理解・ご協力を賜り心より感謝を申し上げます。

卒業生の皆様、敬愛大学卒業、誠におめでとございます。またご父兄の皆様方お子様のご卒業大変おめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。

卒業生の皆様方におかれましては、これから始まる社会人としての生活を心待ちにし期待と希望に満ち溢れている事だと思えます。今までの敬愛大学、学生生活の中で培って来た能力をいよいよ発揮する時が来たのです。社会人としてのスタートラインは皆同じです。しかし社会人になりますと学生時代とは違った環境が皆さんを待っていることと思います。仕事上でのストレスや長時間の労働にたえられなくなったり職場での人間関係で悩んだりするかもしれません。このようなことは社会人になれば誰もが通る道です。こんなもんだと思ってい

れば気楽なものです。それよりも自分らしさを発揮することを考えた方が楽しいかもしれません。

常に人の先頭に立ち明確で斬新、革新的で創造的なビジョンを示しそのビジョンに全力で打ち込んでいく行動力。常に身体と心を健康に保ち自信に満ちて前向きに行動し他に影響されないような自立性を保つリーダー的な存在。常に人の言葉に注意深く耳を傾け冷静に行動ができる信頼性のある人物。常に困難や試練に立ち向かっていく強い精神力を持った人物。常に敬愛愛人の精神を忘れずに素晴らしい社会人となつてますます活躍をしてくれることと思います。卒業生のこれからの人生に幸多かれとお祈りいたします。

最後に理事長先生、学長先生をはじめ教職員の方々の努力に感謝申し上げますとともに会員の皆様方の益々のご健勝とご多幸をお祈り致します。



ご挨拶



教育後援会副会長  
(経済学部)  
浦川 裕子

敬愛大学教育後援会報の発刊にあたりましてご挨拶を申し上げます。日頃から教育後援会の会員の皆様におかれましては後援会活動に対してご理解、ご協力を頂きまして心より感謝申し上げます。

さて皆さん、不況の時代と言われる昨今、今まで循環していたシステムが限界に来ていて、崩壊の方向に進んでいることを示唆しているように思えます。まさに今は幕末の時代に例えられています。これからの混沌とした時代をいかに高い志を持って生き抜いていくかが、若い皆様に与えられた課題、もしくは試練となるかもしれません。

今まで金融を中心に展開されてきた世界経済も、リスクマネーを中心に今まさに最後のバブルに突入し始めている模様です。実体経済が伴わずに株値だけが上がり、いずれは破裂することになるかもしれません。その時は一昨年のリーマンショックなど比べ物にならないほどの衝撃が世界中を駆け巡ることになりかねません。しかし、この出来事は私たちが忘れてしまった「どこかに置いてき

てしまった大切な何か」を思い出し、取り戻す時期が近づいてきたきっかけを与えてくれるのかもしれません。

礼節を重んじる日本人の魂はよく武士道に例えられますが、今日の社会では自由という言葉が縦横無尽に走り回っているようです。自由社会における個人のアイデンティティを確立するためには、まず全体を知らなくてはならないと思います。地球全体から個人を見る、国全体から個人を見る、社会全体から個人を見るなど、また逆に個人を見ながら地球全体を見るといったように、どうぞミクロから見る視点とマクロから見る視点の両方の視線を持っていただきたいと思えます。これからの人生、皆さんにきつといくつもの「チャンス」がやって来ると思えます。チャンスをつかみ、夢をいっぱい持って楽しみながら歩んでいってほしいと願います。

最後になりますが、理事長先生、学長先生、学園長先生をはじめ、教職員の方々の日々の努力に感謝申し上げますとともに、会員の皆様ますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

# 「人間力」ある 人材育成を目指して



学 長  
土 井 修

18歳人口の減少に伴う「全入時代」を迎えて、大学の教育方針をより明確にし、学生諸君のいろいろな面での「力」を涵養する必要があります。以下、その方針のいくつかを挙げてご挨拶に代えさせていただきます。

## 1 本学の建学の精神「敬天愛人」の具現化

現在そのために「敬天愛人講座」を開講し、人間、社会、自然環境などに関する問題をとり上げ、オムニバス形式で大学内外の各専門家に講義をしていただいております。これによって、学生諸君に対してさまざまな分野における問題意識を喚起しております。

## 2 初年次教育、一般教育、専門教育の充実

「全入」に伴い学生諸君の学力が低下してきているのは周知の事実です。このため特に1年次に国語、英語、数学などの基礎学力を養う「初年次教育」を実施し、それ

を基礎に一般教育、専門教育へ橋渡しを行います。小規模大学としての特徴を生かして懇切丁寧な教育を行い、教育の「実」を挙げなければなりません。更に本学には留学生も多数いますので、留学生教育の充実にも取り組んでおります。

## 3 クラブ活動など 課外活動の重要性

チームワークの大切さを知ったり、友人関係を作ったりすることで人間の幅を広げます。

## 4 就職力の向上

就職力はその大学の教育力のバロメーターと言えます。就職力を身に付け、その実績を上げることが肝要です。さまざまなキャリア教育や就職対策をなお一層推進してまいります。

以上の4つの方針に基づいて、学力に偏重するのではなく、学力の他にも高い倫理観、協調性、熱意、行動力などを併せ持つ「人間力」ある人材育成に尽力していきたいと思っております。ただし、教育というものが、学生諸君に対して、社会に適応でき自立して生活できる能力を付けるということであるとすれば、学生諸君の「人間力」向上こそが最も大切であると考えます。最後にになりましたが、教育後援会および関係者の皆様方には、平素物心両面にわたってお世話になり大変感謝しております。今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

# 人 事

この3月をもちまして経済学部、国際学部から計4名の専任教員の先生方が退職されることとなり、お見送りすることとなりました。敬愛大学での長年のご指導に感謝すると同時に、益々のご発展を祈念申し上げます。

(教育後援会事務局)



### 国際学部



矢野 光 教授  
経済政策  
マクロ経済学



奥田 喜八郎 教授  
イギリス文学  
(定年退職)

### 経済学部



中村 哲 准教授  
観光事業論  
観光行動論



斉藤 一彰 教授  
人文地理学  
都市地理学  
(定年退職)

